

最終学歴	中央大学大学院 文学研究科 英文学専攻 博士課程後期課程 博士課程単位取得後退学
称号／学位	修士(文学)
専攻(専門分野)	英文学 / 英語圏文学
研究テーマ	20世紀以降のイギリスとアイルランドの文学研究
所属学会／団体	日本英文学会、日本英文学会関東支部 / 日本ジェイムズ・ジョイス協会 / 新英米文学会 / 日本ヴァージニア・ウルフ協会 / 中央英米文学会

主要業績

【著書】

- ・『文化学の境域——中央英米文学会五十周年記念論集』「19世紀の働く女性の承認をめぐる——イーヴリン・シャープ「くすんだ茶色の洋服」(1896)について」(共著)七月堂、2020年3月

【学術論文】

- ・「反抗としてのランニング——アラン・シリトー『長距離走者の孤独』について」(単著)『戸板女子短期大学研究年報』第57号、戸板女子短期大学、pp.21-27(2015年3月)
- ・「都市と死者——『ユリシーズ』第6挿話「ハデス」におけるダブリン市民たちと共同体——」(単著)『人文研紀要』第78号、中央大学人文科学研究所、pp.67-85(2014年9月)
- ・「グレアム・スウィフト “The Tunnel” にみるロンドン再開発とサッチャリズム」(単著)『中央英米文学』第46／47号、中央英米文学会、pp.22-33(2013年12月)
- ・「芸術家になるのが運命か——『若い芸術家の肖像』におけるスティーヴン・ディーダラスという名前について——」(単著)『New Perspective』194号、新英米文学会、pp.3-12(2012年2月)
- ・「スティーヴンの言語と記憶——『若い芸術家の肖像』についての一考察——」(単著)『英米文学研究』第27号、中央大学文学部英米文学会、pp.193-205(2009年12月)
- ・「The Awakening of Stephan Dedalus: A Study of *A Portrait of the Artist as a Young Man*」(単著)『英米文学研究』第26号、中央大学文学部英米文学会、pp.59-72(2008年12月)

【研究発表】

- ・「Graham Swift, “The Watch” における時間」新英米文学会2018年理論研究11月例会(2018年11月、於東洋大学)
- ・「その声は誰の声か——「恩寵」におけるパフォーマンス」新英米文学会2013年度11月例会(2013年11月、於早稲田奉仕園)
- ・「グレアム・スウィフト “The Tunnel” にみるロンドン・ドッグランズ再開発」中央英米文学会2013年度第2回研究発表会(2013年7月、於成城大学)

- ・「ダブリンという都市を移動するブルーム——『ユリシーズ』第6挿話ハデスを中心に——」第32回日本ヴァージニア・ウルフ協会全国大会(2012年11月、於関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス)
- ・「スティーヴン・ディーダラスはなぜ芸術家になれなかったのか?—『若い芸術家の肖像』と『ユリシーズ』第一挿話を中心に」第42回新英米文学会大会(2011年8月、於武蔵野外語専門学校)
- ・「反抗としてのランニング—アラン・シリトー “The Loneliness of the Long-Distance Runner” について」新英米文学会2011年度12月例会(2010年12月、於早稲田奉仕園)

【研究ノート】

- ・「ジェームズ・ジョイスと社会主義についての試論——『若い芸術家についての肖像』第五章を中心に」(単著)『戸板女子短期大学研究年報』第58号、戸板女子短期大学、pp.19-25(2016年3月)

【書評】

- ・「R. Brandon Kershner, *The Culture of Joyce's Ulysses*」『Joycean Japan』No.24、日本ジェームズ・ジョイス協会、pp.66-67(2013年6月)
- ・「高本孝子 池園宏 加藤洋介共編『新世紀の英語文学 ブッカー賞総覧2001-2010』」『New Perspective』第195号、新英米文学会、pp.68-70(2012年7月)

